



ひまわりライス通信

R元年、8月

No.116

皆さんこんにちは。8月に入っても平年より気温の高い日が続いています。現在の稲は草丈は平年より低いですが、茎数は平年並みに育っています。稲穂の頭も徐々に傾いてきていますよ。今年の稲刈は少し早まるような予感（^^）しかし安心してはいけません！これから台風が発生しやすい季節！どうか、避けてくれますように…(>人<*) それでは、今月も元気についてみよう（\ω・b）



稲穂が出てきました。稲は葉で光合成をしてブドウ糖を生産し、穂に送り込んで溜めていきます。



収量を増やすには、稲穂が出てから登熟までの期間に晴天が続き、光合成量が大きくなるのが大切なんです。稲穂が出てから、晴れて暑い日が続くと美味しいお米ができます。人にとっては厳しい暑さも、稲にとっては最高の恵みになるんです！（*^-）v



病気や害虫が発生しないために、定められた防除基準によって防除しています。以前紹介したラジコンヘリコプターもありますが、今ではドローンも。最小人数で作業ができます。



ラジコンヘリコプターより、至近距離から農薬を散布することができるので、農薬を減らして効率よく散布することができますよ。ヽ(・▽・)ノ



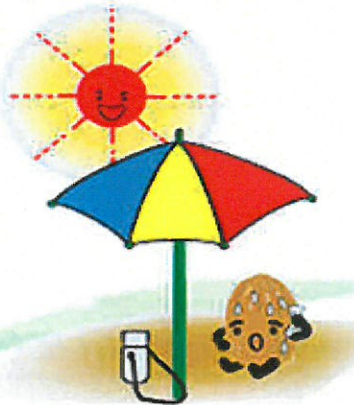
稲は晴れた日の午前中に花を咲かせます。花といっても、花びらはありません。1本の穂には、約100個ぐらいの花が付いていて、穂先から順番に咲いていきます。



1つの稲の花が咲いているのは約2時間程度です。全部の花が咲き終わるまでに1週間ぐらいかかります。理由は、子孫を残す仕組みですね。



登熟初期、お米は固くならないミルク状で甘い味がするそうです。スズメはそれを知っているようで、食べにくるそうですよ。（'・▽・'）へー



お米も熱中症?! 昼間の温度が約35℃、夜間30℃を超えると、稲に高温障害が発生します。高温になると、吸水が蒸発に追いつかず枯れる場合も。また、蒸発を防ぐために葉の気孔が閉じます。気孔が閉じると光合成も停止し、生育が止まって根が弱って倒伏しやすくなり、やがて枯れる危険もあるんですよ。



恐れていた台風10号でしたが、幸い北竜町は難を逃れました。今は沢山の太陽を浴びて、光合成によりデンプンを蓄えています。美味しいお米ができますように。*(uwu人)*...

今月も最後までお付き合いいただきありがとうございました。3月から農作業が始まり、いよいよ来月は稲刈りが始まります。なんだか本当に、あっという間に過ぎていきますね～。暑かった夏も、今じゃすっかり秋空ですよ。（-ω-）フツ それでは皆さんに、令和初のひまわりライスをお届けできますように。+(o・ω-人)・* 来月号で♪ 今回の台風で被害に遭われた皆様には、心からお見舞い申し上げます。

J Aきたそらち北竜支所 営農課
直通 0164-34-2247 FAX 0164-34-2216
生産情報公表JASのHPアドレスは <http://www.hokuryu-mai.com/>
JAきたそらち北竜支所ブログ